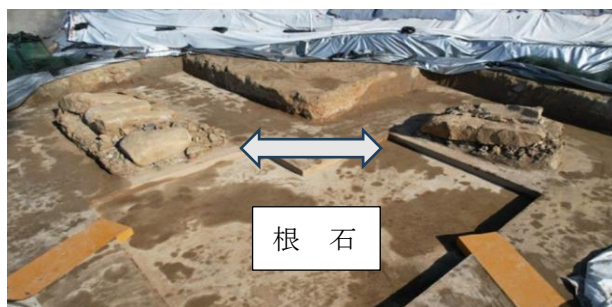


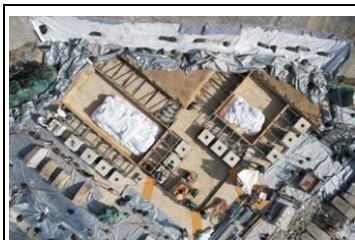
丸亀城管理室だより No.24

●三の丸石垣の根石を守るコンクリート基礎工事をしました。



「根石」とは

三の丸石垣の最下段にあり、石垣の基礎となる根石が、崩落の影響を受けることなく、現地にそのまま残っていることが確認されました。この根石は、江戸時代に築かれた当時の姿を現在に伝える貴重な遺構です。そのため、将来にわたって保存・継承していくため、根石の姿を変えずに保護することができるコンクリート基礎工事を実施しました。



石に直接材料が当たらないように白いシートをかぶせ周りにセメントを混ぜた固まる土を入れるための型枠を作りました。



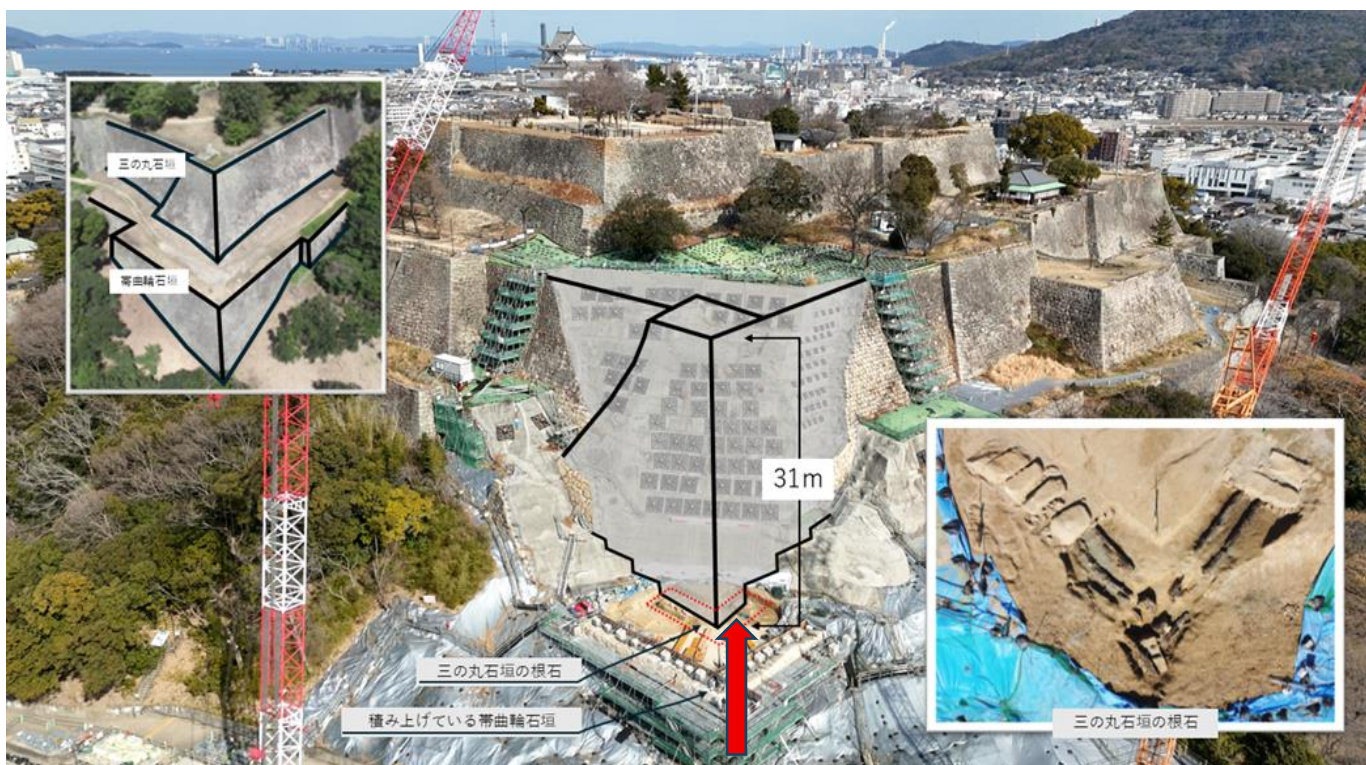
丁寧に根石の周りに固まる土を流し込み、根石の周りを埋めました。この土が固まるとコンクリート基礎内側の型枠代わりとなる土のブロックの完成です。



完成した土のブロックの周りに鉄筋を組み型枠を作成し、コンクリートを流し込みました。



コンクリート基礎が完成しました。この基礎の上に三の丸石垣を積み上げていきます。



このコンクリート基礎工事をした根石は三の丸石垣の最下段標高19mの位置にあります。約400年もの間、高さ31mの石垣を支えていました。

令和 8 年度の予定

【石垣積み上げ工事】

令和 8 年度に三の丸石垣は標高 26.0m ラインまで、帯曲輪石垣は標高 22.0m ラインまで石垣積み上げ工事をする予定です。



三の丸石垣 積み上げ予定範囲

帯曲輪石垣 積み上げ予定範囲

【その他の工事予定】

根固め石垣積み上げ工事 標高 22.0m まで

新石材制作・・・約 200 石 転用石材制作・・・約 150 石

●令和 8 年 7 月 9 日に延寿閣別館が国の登録有形文化財に登録されました。

延寿閣別館は城内三の丸に迎賓館「延寿閣」の貴賓室として昭和 8 年(1933 年)に建てられました。

その名称は、かつて通町にあった丸亀藩 6 代藩主京極高朗の隠居部屋に由来する「延寿閣」に合わせつけられました。建設にあたっては東京麻布にあった子爵京極高修氏の邸宅の一部を譲り受け移築されたもので、延寿閣(本館)は迎賓用だけでなく市民の文化活動拠点としても利用されていましたが昭和 60 年(1985 年)に老朽化のため解体されました。一方、延寿閣別館は現在まで保存され地方都市に整備された迎賓館の歴史的背景や子爵家の生活様式を今に伝えています。現在は、丸亀城城泊の拠点・宿泊施設として活用されています。



・丸亀城城泊に新プランが創設されました



現在、提供中の延寿閣別館で宿泊できる「城泊」にフルパッケージの「丸亀キャスルエクスペリエンス」に加え、延寿閣別館での宿泊と、食事や体験を自由に組み合わせるオーダーメイド型の「丸亀城延寿閣別館シンプルステイ」が創設されました。城泊のご予約、お問い合わせなど詳しいことは丸亀城 延寿閣別館

Kazeno Heritage まで
<https://marugame-castle.com/>

